

# 窓ガラスの光熱性能計算ツール "TOP-G"

Calculation Tool for Thermal and Optical Properties of Glazing - Ver.2.0

2021.10.14



窓ガラスの光熱性能計算ツール TOP-G に合わせガラスの構成を画面上で変更できる機能を追加しました。以下の使用方法に従ってご利用ください。

1 「ガラス構成設定」画面で合わせガラスの「詳細」ボタンをクリックします。

窓ガラスの光熱性能計算ツール "TOP-G"  
Calculation Tool for Thermal and Optical Properties of Glazing - Ver.1.20

FGMAJ 板硝子協会 FLAT GLASS MANUFACTURERS ASSOCIATION OF JAPAN

ガラス構成選択      ガラス構成設定      計算結果表示

ガラス層数	板ガラス種類	反転	中空層種類	中空層厚[ミリ]
1	RSFL6SS8#-clear30mil-FL6 熱線反射...	OFF		0.0
		OFF		0.0
		OFF		0.0
		OFF		0.0

(室外) (室内)

計算する      戻る      リセット

窓ガラスの光熱性能計算ツール "TOP-G" Ver.1.20  
Copyright © 2020 Flat Glass Manufacturers Association of Japan. All rights reserved.

2 「板ガラス詳細表示」画面で「合わせガラス構成変更」ボタンが表示されている場合に、合わせガラス構成を変更できます。

板ガラス詳細表示

会社名: 日本板硝子  
品種略号: RSFL6SS8#-clear30mil-FL6  
製品名: 熱線反射合わせガラスSS8 12ミ ( #2 )

呼び厚さ: 12.76 ミ  
熱伝導率: 0.788 W/(m・K)  
垂直放射率: (室外側) 0.89 (室内側) 0.89  
膜面位置: なし

	透過率[%]	反射率[%] (室外側)	反射率[%] (室内側)
紫外線:	0.0		
可視光:	9.7	40.9	24.9
日射:	6.8	35.5	26.3

透過率      反射率(室外側)      反射率(室内側)

合わせガラス構成変更      戻る

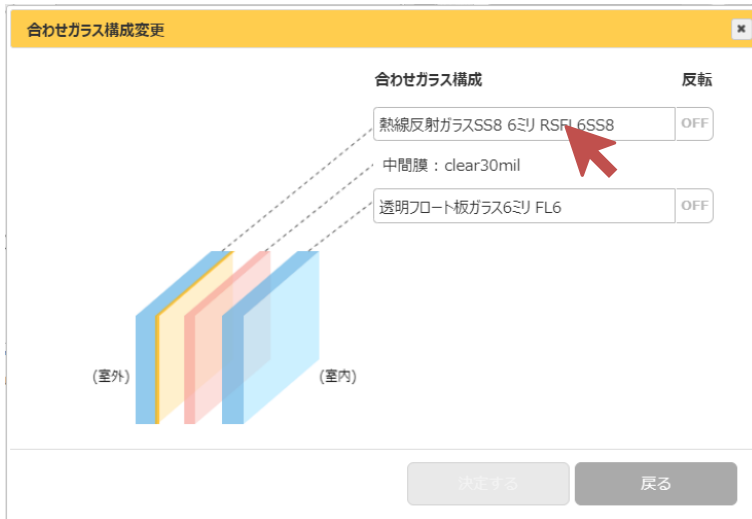
データベースに登録された値をJISに基づいた桁数で表示しています。

【注意】 TOP-G データベースへの登録時に合わせガラス構成変更用データを登録していない合わせガラス品種では、「合わせガラス構成変更」ボタンは表示されません。

# 窓ガラスの光熱性能計算ツール "TOP-G"

Calculation Tool for Thermal and Optical Properties of Glazing - Ver.2.0

3 「合わせガラス構成変更」画面で合わせガラス構成を変更したい方の「ガラス品種」ボックスをクリックします。



【注意】 中間膜の種類や厚みは変更ができません。「ガラス構成選択」画面または「ガラス構成設定」画面で合わせガラス構成変更前の板ガラス種類の選択時に、検討すべき中間膜種類と厚みを持つ合わせガラス種類を選択してください。

# 窓ガラスの光熱性能計算ツール "TOP-G"

Calculation Tool for Thermal and Optical Properties of Glazing - Ver.2.0

- 4 合わせガラス構成変更に表示可能なガラス品種のリストが表示されます。設定したいガラス品種を選択して「決定する」ボタンをクリックします。

合わせガラス用板ガラス選択

会社名 (必須)  
 日本板硝子

板ガラス種類  
基板:  
 透明  
 熱線吸収  
 高透過

薄膜:  
 なし  
 熱線反射  
 高性能熱線反射  
 Low-E  
 セラミック印刷

その他:  
 拡散系  
 繰入り繰入り

表示順: 板厚 可視光透過率 放射率

会社名	品種略号	製品名	板厚[ミリ]	膜面	可視光透過率[%]	垂直放射率[-]
NSG	日本板硝子 RSFL6SS8	熱線反射ガラスSS8 6ミリ	6	室内側面	8.0	0.89 / 0.38
NSG	日本板硝子 RSFL10SS8	熱線反射ガラスSS8 10ミリ	10	室内側面	7.8	0.89 / 0.38

1

該当数: 2件 / 表示中: 1-2件目  
データベースに登録された値をJISに基づいた桁数で表示しています。

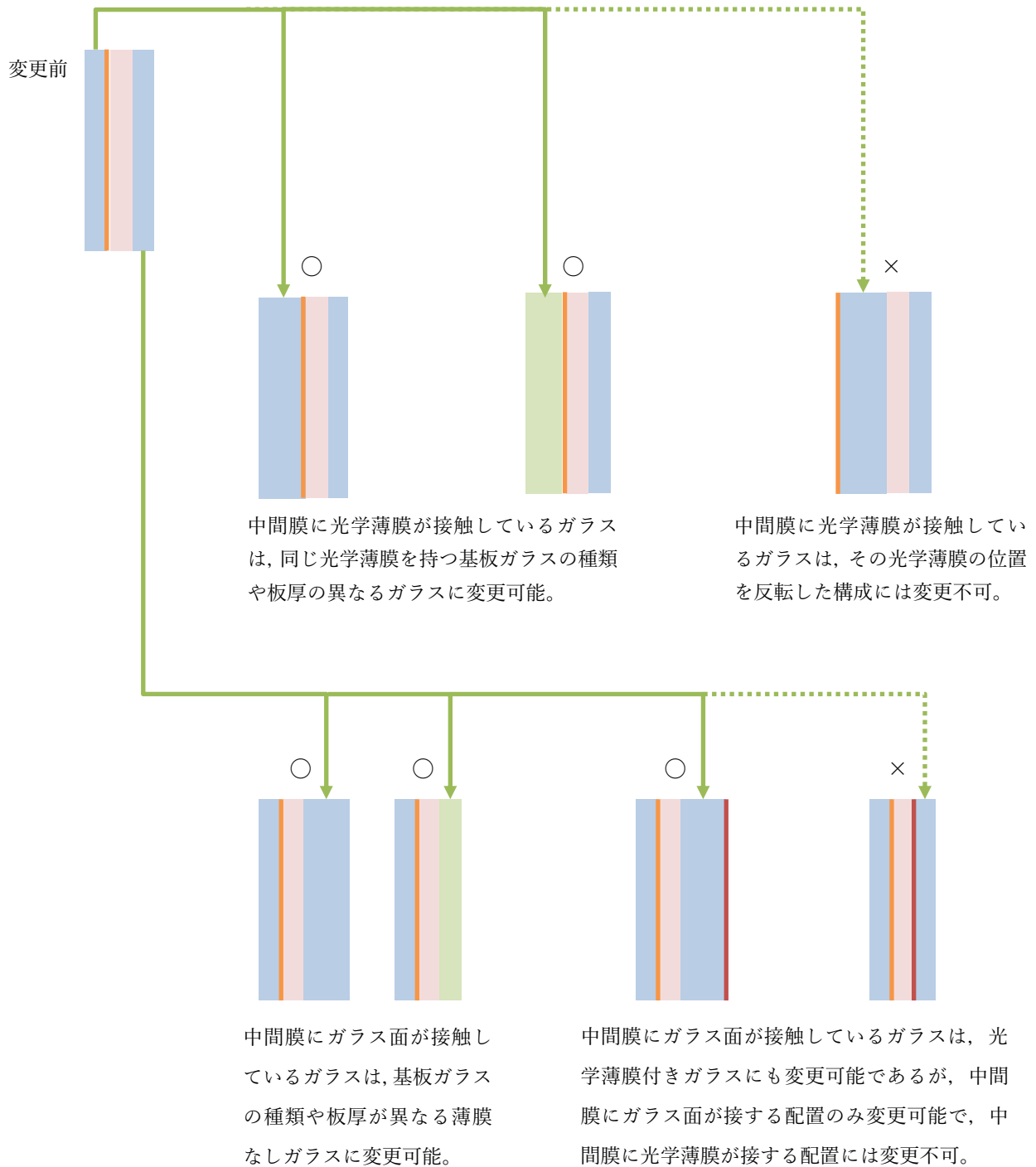
リセット 決定する 板ガラス詳細表示 戻る

## 【注意】

- 「合わせガラス用板ガラス選択」画面には、合わせガラス構成変更に表示可能なガラス品種のみ表示されます。変更前合わせガラス構成によって使用可能なガラス品種は異なります。
- 変更前後の合わせガラス構成は、中間膜の種類及び厚み並びにその両側それぞれの境界面（光学薄膜種類またはガラス面）が同一のものでなければいけません。
  - 変更前の合わせガラス構成で中間膜に光学薄膜が接触しているガラスは、同じ光学薄膜を持つガラス品種にのみ変更可能で、自動的にその光学薄膜は中間膜側に配置されます。薄膜なしガラスは選択できません。
  - 変更前の合わせガラス構成で中間膜にガラス面が接触しているガラスは、薄膜なしガラス、薄膜付きガラスのいずれにも変更可能ですが、薄膜付きガラスを選択すると自動的にそのガラス面が中間膜側に配置され、薄膜面は室外または室内に露出する配置となります。また、薄膜なしガラスには反転の区別なく変更できます。
- 合わせガラス構成変更用データを登録していない板ガラス品種は「合わせガラス用板ガラス選択」画面に表示されません。

# 窓ガラスの光熱性能計算ツール "TOP-G"

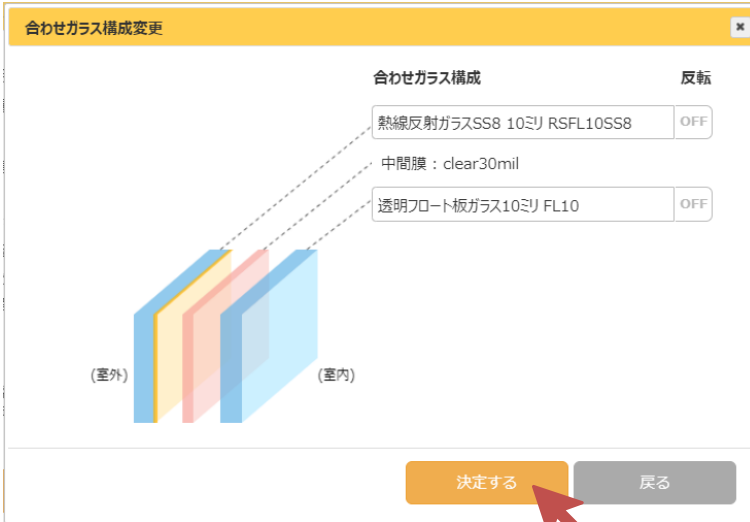
Calculation Tool for Thermal and Optical Properties of Glazing - Ver.2.0



# 窓ガラスの光熱性能計算ツール "TOP-G"

Calculation Tool for Thermal and Optical Properties of Glazing - Ver.2.0

5 合わせガラス構成の変更の設定ができれば、「決定」ボタンをクリックします。



【注意】上図の例では、合わせガラス構成変更前の室外側ガラスの薄膜が中間膜側に配置されていたため、合わせガラス構成変更後の構成でも室外側ガラスの薄膜は自動的に中間膜側に配置されます。よって、室外側ガラスの「反転」ボタンをクリックすることはできません。

6 「合わせガラス詳細表示」画面に、合わせガラス構成変更後の性能値などが表示されます。必要に応じて「品種略号」ボックスと「製品名」ボックスの内容を変更してください。合わせガラス構成の変更設定をやり直すには「合わせガラス構成変更」ボタンをクリックしてください。この合わせガラス構成でよい場合には「決定する」ボタンをクリックしてください。



# 窓ガラスの光熱性能計算ツール "TOP-G"

Calculation Tool for Thermal and Optical Properties of Glazing - Ver.2.0

7 合わせガラス構成が変更されて「ガラス構成設定」画面に戻ります。この後は、通常の TOP-G の使用方法と同じように、この合わせガラスと別の板ガラスを組み合わせた複層ガラスなどの設定が可能です。

窓ガラスの光熱性能計算ツール "TOP-G"  
Calculation Tool for Thermal and Optical Properties of Glazing - Ver.1.20

FGMAJ 板硝子協会 FLAT GLASS MANUFACTURERS ASSOCIATION OF JAPAN

ガラス構成選択      ガラス構成設定      計算結果表示

ガラス層数	板ガラス種類	反転	中空層種類	中空層厚[ミリ]
1	RSFL10SS8-clear30mil-FL10 熱線反...	OFF 詳細		0.0
		OFF 詳細		0.0
		OFF 詳細		0.0
		OFF 詳細		0.0
		OFF 詳細		0.0

(室外) (室内)

計算する      戻る      リセット

窓ガラスの光熱性能計算ツール "TOP-G" Ver.1.20  
Copyright © 2020 Flat Glass Manufacturers Association of Japan. All rights reserved.

以上